

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第2区分

【発行日】平成22年1月28日(2010.1.28)

【公表番号】特表2009-518385(P2009-518385A)

【公表日】平成21年5月7日(2009.5.7)

【年通号数】公開・登録公報2009-018

【出願番号】特願2008-543985(P2008-543985)

【国際特許分類】

A 6 1 K 8/85 (2006.01)

A 6 1 Q 1/02 (2006.01)

A 6 1 Q 1/04 (2006.01)

【F I】

A 6 1 K 8/85

A 6 1 Q 1/02

A 6 1 Q 1/04

【手続補正書】

【提出日】平成21年12月4日(2009.12.4)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

皮膚及び/又は口唇をケアするための及び/又はメイクアップするための化粧料組成物において、約25℃で測定された粘度が約20000mPa・s以上である、ダイマージリノール酸とポリオールとの少なくとも1のエステル、若しくはそのエステルを含み、かつ約7以上の光沢保持力を有する化粧料組成物。

【請求項2】

皮膚及び/又は口唇をケアするための及び/又はメイクアップするための無水化粧料組成物において、約25℃で測定された粘度が約20000mPa・s以上である、ダイマージリノール酸とポリオールとの少なくとも1のエステル、若しくはそのエステル、及び少なくとも1の半結晶性ポリマーを含む化粧料組成物。

【請求項3】

上記エステルが、約2000～約25000 g / モルの分子量を有する、請求項1～2のいずれか1項に記載の組成物。

【請求項4】

ポリオールがジオールである、請求項1～3のいずれか1項に記載の組成物。

【請求項5】

上記エステルが、ダイマージリノレート残基と上記ジオールに関連する残基の交互の配列を含む、請求項4に記載の組成物。

【請求項6】

上記配列の2つの末端の各々が、それぞれ、残基OR'及びOR''を有し、R'及びR''は互いに独立して水素原子を表すか、又はOR'及びOR''は互いに独立してC₂～C₃₆の炭化水素をベースとするモノアルコール残基を表す、請求項5に記載の組成物。

【請求項7】

皮膚及び/又は口唇をケアするための及び/又はメイクアップするための化粧料組成物において、下記の一般式(I)の少なくとも1のエステルを含み、7以上の光沢保持力を有する

化粧品組成物、



ここで

OCR₁COはダイマージリノレートの残基を表す、

OR₂Oは脂肪族アルコールダイマーの残基を表す、

OR₃は炭化水素をベースとするモノアルコールの残基を表す、及び

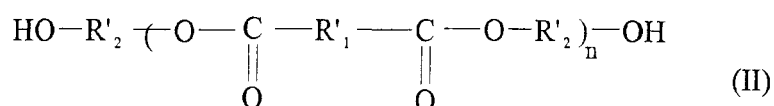
nは1～15の範囲の整数である。

【請求項 8】

請求項 7 に記載のエステルを含む、請求項 1～6 のいずれか 1 項に記載の組成物。

【請求項 9】

下記一般式(II)の少なくとも 1 のエステルを含み、7 以上の平均光沢保持力を有する、皮膚及び／又は口唇をケアするための及び／又はメイクアップするための化粧品組成物、

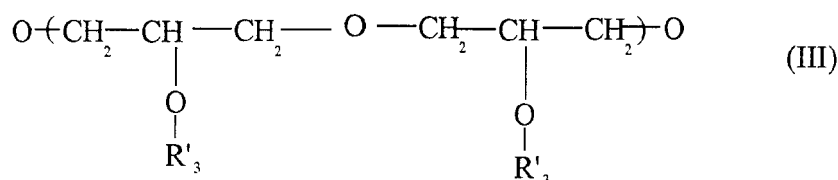


ここで

nは 1 ～ 1 5 の整数である、

OCR' ₁COは、ダイマージリノレートの残基を表す、

OR' ₂Oは、下記一般式 (III) のジグリセリル残基を表す、



ここで

R' ₃はHを表すか、又はOR' ₃は脂肪酸残基を表す。

【請求項 1 0】

請求項 9 に記載のエステルを含む、請求項 1～6 のいずれか 1 項に記載の組成物。

【請求項 1 1】

半結晶性ポリマーをもまた含む、請求項 1 又は 3～1 0 のいずれか 1 項に記載の組成物。

【請求項 1 2】

揮発性オイル、及び非揮発性オイル、及びそれらの混合物からなる群から選択された少なくとも 1 の液状脂肪相をもまた含む、請求項 1～1 1 のいずれか 1 項に記載の組成物。

【請求項 1 3】

少なくとも 1 のゲル化剤をもまた含む、請求項 1～1 2 のいずれか 1 項に記載の組成物。

【請求項 1 4】

皮膚及び／又は口唇をケアするための及び／又はメイクアップするための、改良された光沢保持力を有する化粧品組成物を製造するために、25℃で測定された粘度が20000mPa・s以上である、又は請求項 7～9 において記載された通りである、ダイマージリノール酸とポリオールとの少なくとも 1 のエステル、若しくはそのエステルを少なくとも 1 の半結晶性ポリマーと組み合わせて使用することを含む方法。

【請求項 1 5】

基体の少なくとも一部に、請求項 1～1 3 のいずれか 1 項に記載の組成物を施与することからなる少なくとも 1 の工程を含む、皮膚及び／又は口唇をメイクアップするための及び／

又はケアするための方法。